



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ ジュニア・シニア 受動から能動へ たんけんクラブ成長への挑戦 ～ブルーアース2018～を目指して

平成29年9月のマリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動を報告します。

- 世界最先端の海洋科学の知の拠点である、地球深部探査船「ちきゅう」の使命と役割を理解するとともに、「ちきゅう」の掘削情報科学から得た研究成果及び、八戸沖掘削であげられた分析データやコア試料から解明された成果について理解し、その収集されたデータや試料を分析できる技量及び理解力を高める。
- 研究者、技術者、実務者の方々からの実践的講義を体験し、JAMSTECの挑戦や取り組みを学び、グローバルな視点を獲得しかつ地域の発展へ貢献と実践ができる人材の育成を目指す。
- 海洋都市八戸の未来予想を描くため、海底資源豊かな八戸沖でのデータを解明し、データに裏打ちされた背景を探り新たな視点を獲得する。
- 科学の知見を深化させるため、地球深部探査船「ちきゅう」での講義を受講し、知識と技量のバランスのとれた思考の獲得、ブルーアースシンポジウム2018への挑戦と更なる飛躍を目指す。

この4つの趣旨をもとに、平成29年9月16日（土）、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動を開催いたしました。

〈活動内容〉

- 地球深部探査船「ちきゅう」乗船見学
ジュニア（船内見学） シニア（船内見学及び実習）
- 「ちきゅう」歓迎セレモニー
- マリエント“はちのへ「ちきゅう」情報館”開館10周年記念リニューアル
- マリエント“はちのへ「ちきゅう」情報館”10周年記念式典



「ちきゅう」をバックにJAMSTECの皆様を囲んで全員で記念撮影

出発

いよいよ、心待ちにしていた地球深部探査船「ちきゅう」の船内見学の日です。バスに乗り込み、「ちきゅう」が待つ八戸港八太郎岸壁に出発です。



現地に近づくとつれ、遠くから見ていた「ちきゅう」がどんどん大きくなってきます。現地に到着し、空を見上げるほどの「ちきゅう」の大きさと、その圧倒的な存在感に、クラブ会員の気持ちは更に高まります。



花束とサイダーの贈呈、記念撮影

到着後、まず、バスの中で今回の船内見学における注意事項等について、説明を頂きました。

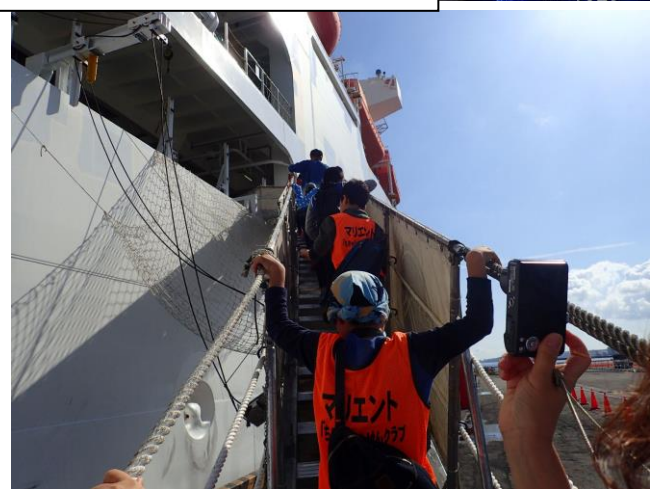
説明を受けた後、バスを降り、「ちきゅう」の前に集合し、まず、これからお世話になる JAMSTEC の皆様へ挨拶を行いました。そして、JAMSTEC 地球深部探査センター センター長の倉本真一様をはじめ JAMSTEC の皆様へ、今回の特別公開の御礼と今後の掘削調査への応援の気持ちを込めて、クラブ会員から花束と八戸地サイダーを贈呈させて頂きました。



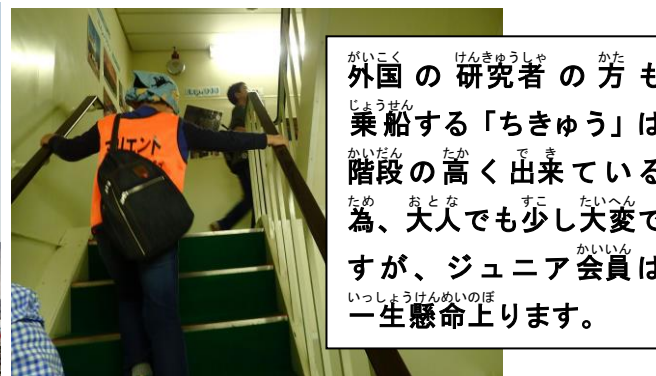
いよいよ「ちきゅう」の^{せんないけんがく}船内見学スタートです。



あこが^め憧れの「ちきゅう」を目の前に乗船前の^{かいいん}会員も^{おも}思わず^{まんめん}満面の^{えみ}笑み



今回、^{ジュニア}ジュニア、^{シニア}シニアは別々に^{かつどう}活動をします。ジュニアが先に^{せんない}船内に^{のりこみ}乗り込み^{けんがく}見学しました。



が^{いこく}外国の^{けんきゆうしや}研究者の方も
乗船する「ちきゅう」は
階段の^{たか}高く^{でき}出ている
ため、^{おとな}大人でも少し^{たいへん}大変で
すが、^{ジュニア}ジュニア^{かいいん}会員は
一生懸命^{いっしょうけんめい}上ります。

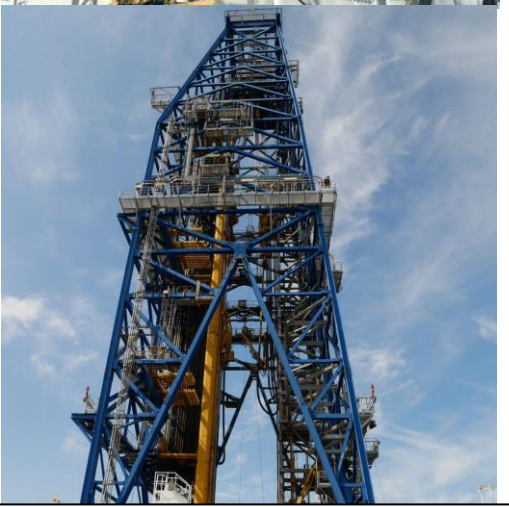
ジュニアに^{つづ}続いて^{シニア}シニアが^{けんがく}乗船。シニアは^{けんがく}見学は
A班Bに^{わか}分かれて^{せんないけんがく}船内見学と、^{じっしゆ}実習^{おこな}を行い、
JAMSTEC の^{たんとう}担当^{かたが}の方々がそれぞれの^{ばん}班について、
^{たいおう}対応^{して}してくださいました。



ジュニア船内見学様子



操縦室。船を一定の場所に留めておくためのスクリューを管理する機械や、操縦機、そしてエンジンをコントロールする機械など、重要な機器類が沢山ありました。



コア試料切断場所は採取された「コア」が一番最初に運び込まれる場所。通常、海底の地層から回収されるコア試料は、9メートルの長さがあり、それを1.5メートルずつの長さに切断し保存や各調査へ利用されます。↓



↑デリックとは掘削やぐらのことで、高さは、海面から121メートルあります。中央には昇降装置があり、約1,200トンまで吊り下げることができます。





ジュニア会員は乗船見学終了後、先にマリエントに帰館し、レポート作成に取り組みました。それぞれ見学時にとったメモを確認しながら、また親御さんと振り返りながら、文章や絵で描き留めていました。レポート作成後は、午後から行われる“はちのへ「ちきゅう」情報館 開館10周年記念リニューアルセレモニー見学まで、各自昼食をとったり、マリエントの館内でゆっくり見学しながら休憩としました。

シニア乗船実習



早速ラボに移動し、実習スタートです。今回「ちきゅう」船上での一般によるラボを使用した実習は初の試みとのことです。